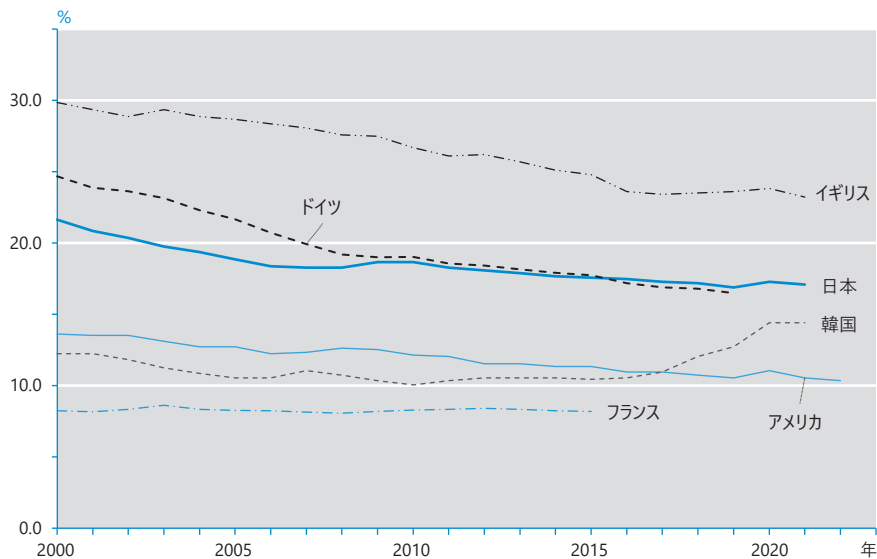


7-1 労働組合組織率の推移



[関連表](#) p.230 「第7-1表 労働組員数・組織率」

主要国の労働組合組織率の変化をみると、ほとんどの国で過去 20 年余りにわたって低下傾向にある。相対的に組織率の高い国ほど、急速な低下を経験しており、例えばイギリスでは、2000 年の 29.8% から 2021 年には 23.1% と 6.7 ポイント低下、日本では、同じ期間に 21.5% から 16.9% へと 4.6 ポイント低下している。また、ドイツでは、2000 年の 24.6% から 2019 年には 16.3% と 8.3 ポイント低下している。

なお、韓国ではここ数年、他の各国とは対照的に、組織率が上昇に転じている。